

全学モジュール科目案内

テーマ名	14-A9 コミュニケーション基礎講座		
テーマ責任者	岡田 佳子	責任部局	大学教育イノベーションセンター
対象学部	多文化社会学部・教育学部・経済学部・薬学部・水産学部		
趣旨	<p>今日、コミュニケーション力は社会人の基礎力の中核とされており、大学卒業時に期待される多くの能力のなかでもその筆頭に挙げられています。他方で、我々は皆ヒトという生き物として、また特定の文化圏に生まれた者として、既に存在するコミュニケーションの網目の中で育ってきます。つまり我々は、個人としてコミュニケーションを行う以前に、コミュニケーションのなかで今の自分になってきたともいえるのです。</p> <p>したがって、コミュニケーションの実践力を高めるためには、普段当たり前にとらえているコミュニケーション状況を明らかにし、その上で各自のコミュニケーション力をより機能的なものにしていくことが有効です。本科目群では、全員が学ぶモジュールⅠにおいて、人類学と生物学からコミュニケーション状況を理解するとともに基礎的なコミュニケーション力を高めます。モジュールⅡにおいては各自の関心に応じた学習を深め、コミュニケーションの深い理解に基づいた実践力向上を旨とします。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの文化的多様性と普遍性を説明できる：科目Ⅰa「コミュニケーションの人類学」 ・コミュニケーションの生物学的背景を説明できる：科目Ⅰb「コミュニケーションの生物学」 ・日本語の読解・表現およびICT活用が適切に行える：科目Ⅰc「コミュニケーション基礎実践」 ・関心をもったコミュニケーション領域の知識と技能を活用できる：科目Ⅱa～Ⅱf ・教養教育の全体目標を理解し、各科目の履修を通して関連目標の達成をめざす ・以上を通して、物事を多面的に捉え広い視野から考える能力を身につける 		
学生の皆さんへのメッセージ	<p>前提知識はとくに問いませんが、コミュニケーションについて広い関心のある方、また他者と協働して学習を進めていくことに関心のある方を歓迎します。科目内容だけでなく、他の学生たちと、また担当の教員たちとコミュニケーションを実践していくこと自体が、コミュニケーション技能の向上の機会となります。ぜひチャレンジして下さい。</p>		

	科目名	担当者名	概要	キーワード
モジュールⅠ	(Ⅰa) コミュニケーションの人類学	波佐間 逸博	自然に強く依存して暮らす人びと(狩猟採集民、牧畜民、農耕民)のコミュニケーション、人間と動物のコミュニケーションの事例を理解し、言語的・非言語的コミュニケーションの多様性とその生成基盤、および普遍性について根源から考える力を身につける。	アフリカ・声の文化・歌・発話・身体の共鳴
	(Ⅰb) コミュニケーションの生物学	岡田 二郎 篠原 一之 土居 裕和 西谷 正太	動物およびヒトの行動とその解剖学的・生理学的基盤、とくにコミュニケーションに欠かせない認知・情動に関する脳基盤を理解し、また関連したホルモンや遺伝子等についても学習する。	進化・社会化・神経現象学・ソーシャルブレインズ
	(Ⅰc) コミュニケーション基礎実践	當山 明華 岡田 佳子 若菜 啓孝	日本語の「読み」「書き」およびプレゼンテーションやディスカッション等の基礎的な技能を高める。加えて、ソーシャルメディアの可能性や情報化の光と影などについても理解する。	日本語・批判的読み・自己表現・情報リテラシー
モジュールⅡ	(Ⅱa) 人間関係の社会学	岡田 佳子	成長と共に広がる人間関係の中で身につけていく思考やふるまい、関係性について理解を深める。また、協同学習を通して人の多様性について考える力を身につける。	社会化・家族・ジェンダー・学校文化・階層
	(Ⅱb) 身体体験に学ぶ心理学	山地 弘起	自分と身体との関係、および身体と外界との関係について理解を深めながら、感受性や表現力を高める体験学習を行っていく。	身体心理学・非言語行動・アウェアネス・脱学習
	(Ⅱc) 音楽・スポーツにおける	西田 治 小原 達朗	音を媒介としたコミュニケーションやスポーツにおけるサインなどの情報伝達のあり方を体験的に理	適応的無意識・共同創造・カタル

	ける表現		解し、実生活に活かす。	シス・身体運動文化
	(Ⅱd) 集団内コミュニケーション	川越 明日香	自分の対人関係のあり方を検討しながら、リーダーシップに必須のコミュニケーションの条件について理解する。	セルフコーチング・対人関係・リーダーシップ・集団過程
	(Ⅱe) 異文化コミュニケーション	大橋 絵里 奥田 阿子	背景文化の異なる人々と関わる際の課題を理解し、相互理解と共生への手立てを事例検討や体験学習等を通して模索する。	文化感受性・他者・グローバル化・共生思想
	(Ⅱf) メディア・コミュニケーション	深尾 典男	日常の様々なメディアの影響力を検討し、社会規範の形成や権力の浸透におけるコミュニケーション過程を理解して生活に活かす。	権力・記号・言説分析・ポストモダニズム

全学モジュールの目標 キーワード、および授業 編成の視点との対応	技能・表現						知識・理解			態度・志向性				※授業編成の視点			
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	A	B	C	D
	自主的探究	批判的思考	自己表現	行動力	日本語コミュニケーション力	英語コミュニケーション力	基盤的知識	環境の意義	多様性の意義	社会貢献意欲	学問を尊敬する態度	自己成長志向	相互啓発志向	哲学的な切り口	歴史・略史を扱う	現代的な話題を取り入れる	アクティブラーニングの活用
(Ⅰa)コミュニケーションの人類学	◎	◎			○		◎	○	◎		◎	○	○	◎	○	◎	○
(Ⅰb)コミュニケーションの生物学	○				○		◎	◎	○		◎	○	○	○	○	◎	○
(Ⅰc)コミュニケーション基礎実践	○	○	◎		◎		○					○	○			○	◎
(Ⅱa) 人間関係の社会学	○	◎	◎	○	◎		○		○		○	○	◎	◎	○	◎	◎
(Ⅱb) 身体体験に学ぶ心理学	◎	◎	◎		○		○		○			◎	◎	◎		◎	◎
(Ⅱc) 音楽・スポーツにおける表現	◎		◎	○	○		○		○	○		◎	◎	◎		◎	◎
(Ⅱd) 集団内コミュニケーション	◎		◎	○	◎		○		○	◎		◎	◎	○	○	○	◎
(Ⅱe) 異文化コミュニケーション	◎	○	○	◎		◎	○		○	○	○	◎	◎	◎	○	◎	◎
(Ⅱf) メディア・コミュニケーション	◎	◎	○	○	○		○	○	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
◎(特に重視)の数	6	4	5	1	3	1	2	1	1	2	2	5	6	6	1	7	7
○(重視)の数	3	2	2	4	5	0	7	2	7	2	3	4	3	2	5	2	2

※工学部・水産学部に
係る JABEE 項目